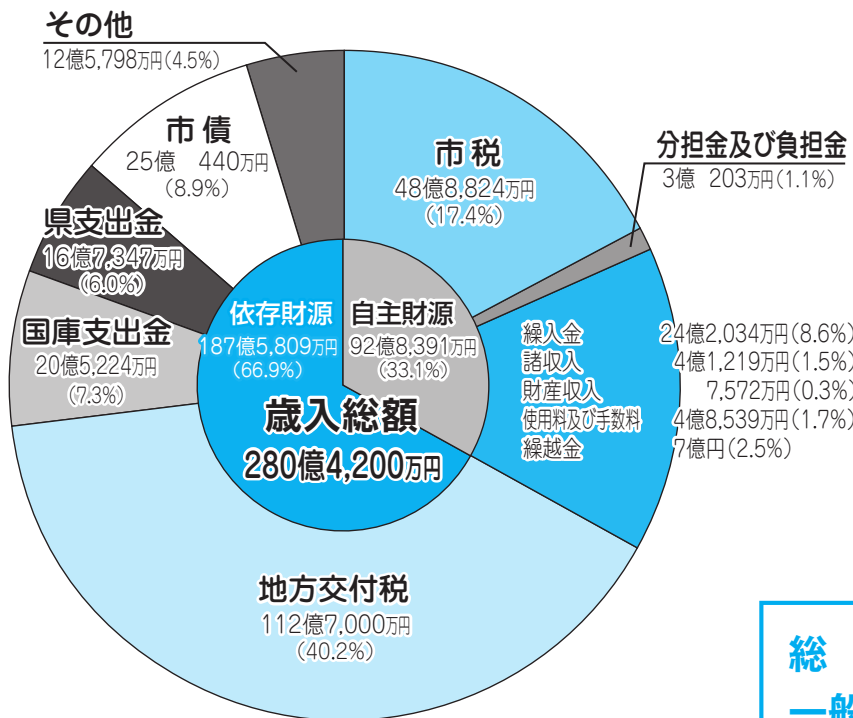
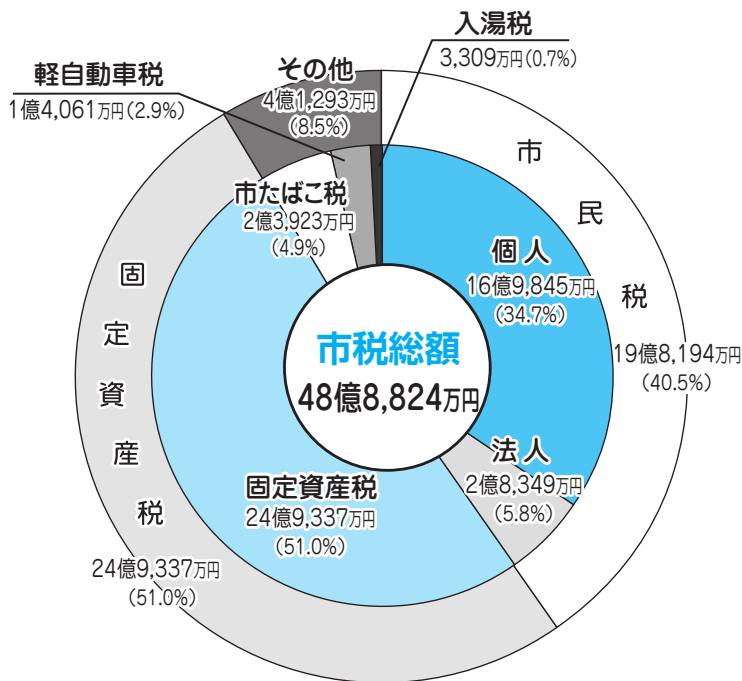


一般会計 歳入の内訳



市税の内訳



平成31年度 当初予算

総額	491億1,873万円
一般会計	280億4,200万円
特別会計	138億3,586万円
企業会計	72億4,087万円

予算編成7つの柱

- 産業・雇用
地域資源を活かして産業を育てるまち
- 環境・防災・社会基盤
美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち
- 健康・福祉
支えあい助け合う安心のまち
- 教育・文化・人づくり
香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち
- 自治・まちづくり
市民と行政が協働でつくるまち
- 地域振興
個性あふれる地域づくりを推進するまち
- 行財政運営
健全な行財政運営を実行するまち

郡上市の平成31年度予算の総額は、約491億円。そのうち福祉、医療、教育や道路整備など、みなさんにとって基礎的な行政サービスをを行う一般会計は、約280億円で平成30年度の当初予算に比べ、0.5%の減となっています。

一般会計の歳入のうち、市税は48億8,824万円（前年度比0.3%減）、国庫支出金は、社会資本整備総合交付金（道路橋りょう事業）や建築物耐震化事業補助金の減などにより20億5,224万円（同0.9%減）、地方交付税は普通交付税において合併算定代替措置が平成30年度で終了したことなどにより112億7,000万円（同0.1%減）を見込んでいます。市債は、合併特例債の終了などに伴い10億7,350万円減少し、25億4,400万円（同30.0%減）となっています。

また今年度は、企業誘致に関連する整備、吹高原スポーツ広場第1グラウンド人工芝生化、短歌の里交流館よぶこどり整備などのための財源として、公共施設整備基金から8億5,000万円、ケーブルテレビ伝送路等更新のための財源として、ケーブルテレビ整備基金から3億3,000万円、郡上カントリープロジェクト事業、「観光立市郡上」推進事業などの財源として地域振興基金から8,900万円、財源不足を補うために財政調整基金から10億8,300万円を繰り入れることとしています。

《用語解説》

市税…市民のみさんから納めていただく市税や固定資産税など

繰越金…前年度から繰り越されたお金

繰入金…基金（特定の目的のために積み立てられる資金または財産）などを取り崩して、一般会計へ繰り入れるお金

分担金及び負担金…福祉事業や土木事業などに対する負担金
使用料及び手数料…住民票などの発行手数料や市営住宅の使用料など

市債…道路や学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金（借入金）

地方交付税…国税の定率分を、市の財政状況に応じた一定の基準により、国が交付するお金

国、県支出金…国、県の施策に沿った特定の事業を行う場合などに財源として交付されるお金

人件費…職員、議員などに支払われる給与や報酬など

公債費…主に事業を行うために借り入れたお金（市債）の元利償還金

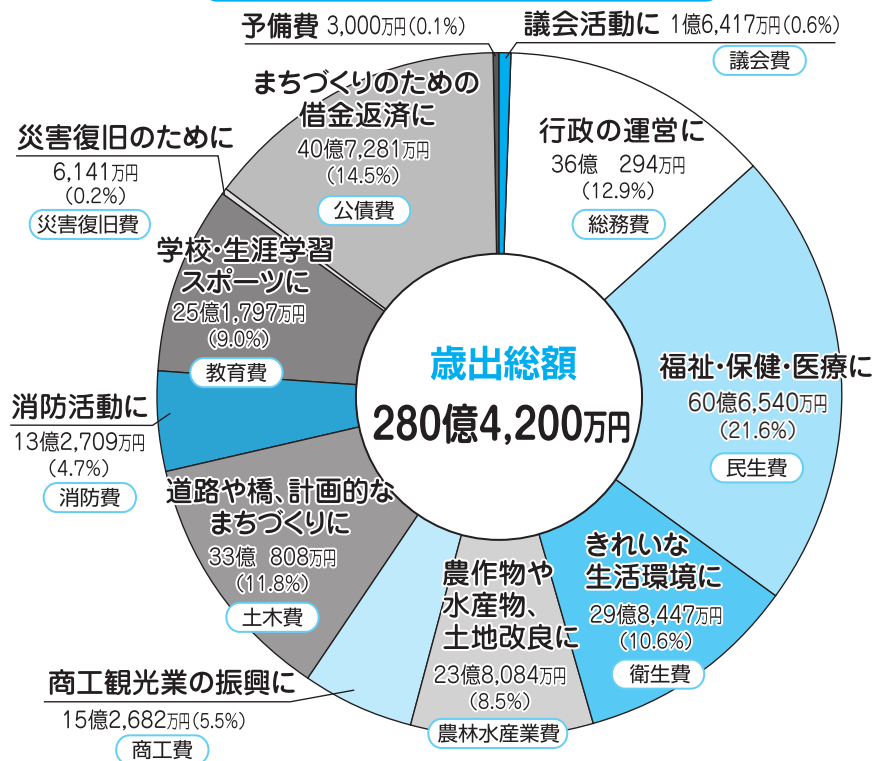
扶助費…児童や老人などの生活支援、生活保護などに使われる費用

普通建設事業費…道路や学校など、公共、公用施設の建設や整備にかかる費用

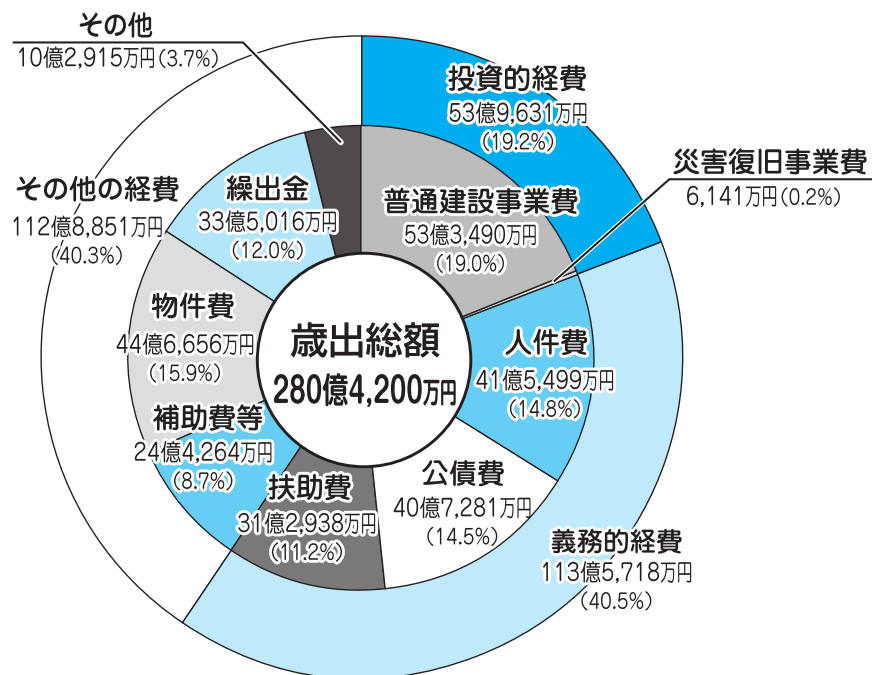
物件費…公共、公用施設の維持管理や旅費、交際費、需用費、備品の購入に充てられる費用

繰出金…一般会計から特別会計へ支出される経費

一般会計の主な使いみち



性質別の使いみち



市税収入などの自主財源は、92億8,391万円で全体の33.1%しかなく、地方交付税や国、県支出金などの依存財源の占める割合が大きなものとなっています。

歳出については、少子化対策や、高齢者などに対する福祉医療や保健に使われる民生費が60億6,540万円（同0.7%減）、道路整備など市民生活に密接する土木費が33億8,084万円（同9.5%減）と、大きな割合を占めています。

また、吹高原スポーツ広場第1グラウンド人工芝生化、企業誘致に関連する整備などの実施により、商工費は15億2,682万円（同30.8%増）と大幅に増加しました。その他、まちづくりの借金返済にあたる公債費は40億7,281万円（同5.2%減）となり、歳出全体の14.5%となっています。

性質別では、人件費と公債費、扶助費を合わせた義務的経費（同1.5%減）は40.5%と大きな割合を占め、普通建設事業などの投資的経費（同4.5%減）は、19.2%となっています。また、一般会計から特別会計へ支出される繰出金（同0.7%増）の割合は、12.0%となっています。

今後も大変厳しい財政状況が続くと思われますが、公共施設の見直しなどを進め、財政の健全化に取り組みながらも、安心して暮らしを進めて行く必要があります。

全会計における市債・公債費・市債残高の推移

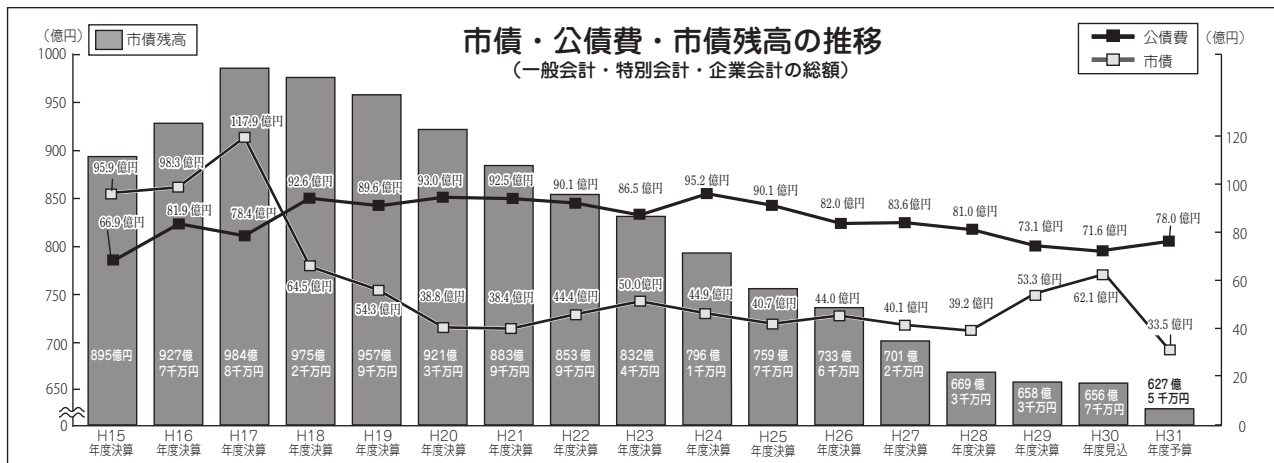
(収入) (支出) (ストック)

ここでは、市が道路や学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金（市債）、借り入れたお金の返済金（公債費）、借り入れ金の残高（市債残高）について、平成15年度末の合併時から平成31年度（予算）までの間に、どのように推移してきたのかを表とグラフを使って説明します。

▼市債（借入金）の推移…合併時の95億9千万円から比較すると、今年度の当初予算では半分以下の33億5千万円となっています。市の厳しい財政状況から、今後も計画的な借り入れによる財政運営を継続します。（平成16年度から平成17年度にかけて増えているのは、市民病院建設等により一時的に増加したものです。また、平成29年度は平成28年度からの繰越事業や郡上市北部斎苑、郡上市産業プラザなどの大規模事業により増加しています。）

▼公債費（返済金）の推移…繰上償還を平成24年度に約10億円、平成25年度には約8億円、平成26年度は約3億円行ったため公債費が多くなっていますが、実質的には平成20年度の93億円がピークで、今年度の当初予算では78億円となっています。平成27年度、平成28年度にも約6億円の繰上償還を実施しており、公債費は徐々に減少する見込です。

▼市債残高（借金残高）…合併時から平成17年度までは増加し、最大で984億8千万円でした。新年度における残高見込は627億5千万円となりますので、14年間でピーク時の36.3%を減額しました。今後も借入残高を減らす努力を継続します。



一般会計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
市債	70.8	68.6	58.5	46.3	38.4	31.5	33.4	38.7	42.3	34.0	28.4	28.9	28.8	23.5	45.3	48.7	25.0
公債費	52.1	59.8	55.1	58.1	61.5	60.9	59.3	62.0	58.2	66.6	62.6	55.5	57.0	53.8	45.0	42.6	40.7
うち元金分	42.6	50.3	46.2	49.1	52.6	52.4	51.3	54.5	51.1	60.1	56.9	50.5	52.6	50.2	42.2	40.3	38.6
うち利子分	9.5	9.6	9.0	9.1	9.0	8.5	8.0	7.5	7.1	6.5	5.7	5.0	4.3	3.6	2.8	2.4	2.1
市債残高	509.4	526.1	538.4	535.6	526.3	505.4	487.5	471.7	462.9	436.8	408.4	386.8	362.9	336.2	339.4	347.8	334.2

特別会計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
市債	25.2	18.6	14.8	14.3	15.4	6.9	4.7	5.7	6.9	9.7	9.6	14.2	10.9	14.8	7.1	10.6	6.1
公債費	10.9	17.4	19.1	22.0	23.2	27.3	28.1	22.6	22.4	22.8	21.4	19.9	19.9	20.4	21.3	15.9	16.0
うち元金分	8.7	10.7	12.2	15.0	16.3	20.4	21.6	16.6	16.6	17.2	16.0	14.7	14.9	15.6	16.9	12.7	13.1
うち利子分	2.2	6.7	7.0	7.0	6.9	6.9	6.5	6.0	5.8	5.6	5.4	5.2	5.0	4.7	4.5	3.2	3.0
市債残高	326.6	334.5	337.2	336.4	334.2	320.7	303.9	292.9	283.3	275.9	269.5	269.1	265.2	264.4	254.6	177.0	170.0

企業会計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
市債	0.0	11.1	44.6	3.9	0.5	0.3	0.2	0.0	0.8	1.1	2.6	0.9	0.4	0.9	0.9	2.8	2.3
公債費	3.9	4.6	4.1	12.5	4.9	4.8	5.1	5.5	5.9	5.8	6.1	6.6	6.7	6.8	6.8	13.1	21.2
うち元金分	2.3	2.9	2.5	10.0	2.6	2.5	2.9	3.4	3.8	3.8	4.3	4.8	5.1	5.2	5.3	10.7	10.9
うち利子分	1.6	1.7	1.6	2.4	2.3	2.2	2.2	2.1	2.1	2.0	1.9	1.8	1.7	1.6	1.5	2.4	10.3
市債残高	59.0	67.1	109.2	103.1	97.5	95.3	92.6	89.2	86.2	83.4	81.8	77.7	73.1	68.7	64.4	131.9	123.3

合 計

単位: 億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
市債	95.9	98.3	117.9	64.5	54.3	38.8	38.4	44.4	50.0	44.9	40.7	44.0	40.1	39.2	53.3	62.1	33.5
公債費	66.9	81.9	78.4	92.6	89.6	93.0	92.5	90.1	86.5	95.2	90.1	82.0	83.6	81.0	73.1	71.6	78.0
うち元金分	53.6	63.9	60.8	74.1	71.5	75.4	75.8	74.5	71.5	81.0	77.0	69.9	72.6	71.1	64.3	63.6	62.6
うち利子分	13.3	18.0	17.6	18.5	18.2	17.6	16.7	15.6	15.0	14.1	13.0	12.0	11.0	10.0	8.8	7.9	15.3
市債残高	895.0	927.7	984.8	975.2	957.9	921.3	883.9	853.9	832.4	796.1	759.7	733.6	701.2	669.3	658.3	656.7	627.5

※市債、公債費、市債残高の平成29年度以前は決算の数値です。

※数値は端数調整により、合計額と合わない場合があります。

※平成30年度、31年度の数字は、今後の決算や補正予算によって変わることがあります。

※平成30年度以降の市債残高は会計統合後の残高となります。

※(ケーブルテレビ事業特別会計は一般会計へ統合、

簡易水道事業特別会計は水道事業会計へ統合)

決算 当初

見込 予算

平成31年度

当 初 予 算 全 会 計 一 覧

会 計		平成31年度予算額	平成30年度予算額	増減率 (%)	予算の内容
一 般 会 計		280億4,200万円	281億7,700万円	▲0.5	基礎的な行政サービスに
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	47億3,631万円	46億3,990万円	2.1	国民健康保険の運営に
	国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定)	4億5,106万円	4億7,007万円	▲4.0	高鷲・和良診療所、和良歯科診療所の運営に
	下水道事業特別会計	25億 895万円	23億9,855万円	4.6	下水処理や下水道工事に
	介護保険特別会計	43億8,449万円	43億4,404万円	0.9	介護保険の運営に
	介護サービス事業特別会計	7億 248万円	7億3,841万円	▲4.9	郡上偕楽園特別養護施設の運営と白鳥病院などで行う介護サービスの運営に
	駐車場事業特別会計	767万円	410万円	87.1	市営駐車場の管理運営に
	宅地開発特別会計	760万円	573万円	32.5	分譲地の販売及び経費に
	青少年育英奨学資金貸付特別会計	3,623万円	4,054万円	▲10.6	就学の支援に
	鉄道経営対策事業基金特別会計	88万円	88万円	▲0.3	長良川鉄道の経営安定などに
	後期高齢者医療特別会計	6億 87万円	5億9,470万円	1.0	高齢者の医療に
	小水力発電事業特別会計	3,262万円	3,203万円	1.9	小水力発電施設の管理運営に
	工業団地事業特別会計	2億1,470万円	3億5,410万円	▲39.4	工業団地の造成に
	大和財産区特別会計	1,400万円	1,200万円	16.7	財産区有林の育成に
	白鳥財産区特別会計	849万円	835万円	1.6	財産区有林の育成に
	牛道財産区特別会計	1,394万円	1,533万円	▲9.1	財産区有林の育成に
	石徹白財産区特別会計	3,401万円	3,832万円	▲11.3	財産区有林の育成に
	高鷲財産区特別会計	4,191万円	3,849万円	8.9	財産区有林の育成に
	下川財産区特別会計	538万円	505万円	6.5	財産区有林の育成に
	明宝財産区特別会計	1,900万円	2,670万円	▲28.8	財産区有林の育成に
	和良財産区特別会計	1,529万円	985万円	55.2	財産区有林の育成に
特別会計 計		138億3,586万円	137億7,715万円	0.4	
企 業 会 計	水道事業会計 (収益)	12億5,066万円	12億6,912万円	▲1.5	上水道の供給や上水道工事に
		(資本) 8億8,201万円	10億1,895万円	▲13.4	
	病院事業会計 (収益)	44億7,143万円	43億5,163万円	2.8	市民病院、白鳥病院の運営に
		(資本) 6億3,677万円	7億9,042万円	▲19.4	
企業会計 計		72億4,087万円	74億3,011万円	▲2.5	
総 額		491億1,873万円	493億8,426万円	▲0.5	

※各会計の合計額、増減率は四捨五入により合わない場合があります。

◆◆ 平成31年度 「がんばるしごと」 ◆◆

都市再生整備計画事業…………… 5億2,412万円

② 循環型社会の実現を図ります

ごみ減量化対策事業…………… 59万円
 ごみ収集車整備事業…………… 764万円
 県営地域用水環境整備事業…………… 4,375万円
 小水力発電研究事業…………… 192万円
 郡上クリーンセンター大規模修繕事業
 ……………… 1億1,994万円
 環境衛生センター大規模修繕事業…………… 8,830万円

③ 暮らしの中の安全・安心を守ります

風倒木等林内処理事業…………… 550万円
 消防施設整備事業…………… 1億4,482万円
 消防車輛整備事業…………… 1億 712万円
 災害対策事業費…………… 2,254万円
 災害対策施設・設備整備事業…………… 8,923万円
 ライフライン保全対策事業…………… 2,796万円

④ 効果的な整備と適切な維持管理により

社会基盤の充実を図ります

地方交通線車両整備事業…………… 457万円
 地方交通対策経費…………… 1億8,990万円
 携帯電話等エリア整備事業…………… 2,071万円
 ケーブルテレビ伝送路等更新事業
 ……………… 7億円
 ケーブルテレビ整備事業…………… 6,404万円
 社会資本整備総合交付金事業…………… 2億6,550万円

【道路・橋りょう整備】

〔八幡〕下尾崎・本町線他3路線
 〔大和〕上剣・中万場線
 〔白鳥〕干田野線他2路線
 〔高鷲〕大原線他1路線
 〔明宝〕岩野上切線他1路線

健康・福祉

《支えあい助け合う安心のまち》

① 結婚から出産、子育てへの切れ目のない支援を充実します

ふれあい交流事業…………… 519万円
 乳幼児医療費助成事業（県）…………… 5,245万円
 小中学生医療費助成事業（市）…………… 7,491万円
 高校生等医療費助成事業（市）…………… 1,182万円
 がんばれ子育て応援事業…………… 3,510万円
 放課後児童健全育成事業…………… 4,230万円
 産後ケア事業…………… 34万円

② 心身ともに健やかな暮らしの実現を目指します

予防接種事業…………… 9,018万円
 がん検診…………… 7,234万円

産業・雇用

《地域資源を活かして産業を育てるまち》

① 豊かな自然を活かした農業・畜産業・水産業を育てます

新規就農サポート事業…………… 390万円
 農林水産物ブランド化向上事業…………… 100万円
 世界農業遺産推進事業…………… 750万円
 地場農産物拡販奨励事業…………… 399万円
 元気な農業産地構造改革支援事業…………… 2,077万円
 後継者等就農給付金事業…………… 750万円

② 豊富な森林の保全と活用を図ります

里山林整備事業…………… 1,900万円
 森林経営管理事業…………… 5,196万円
 林業技術者育成・確保事業…………… 595万円
 森林・林業普及啓発事業…………… 200万円
 郡上地域林業成長産業化モデル事業…………… 1,000万円
 郡上市産材住宅建設等支援事業…………… 2,210万円

③ ひと・もの・情報の集まる商工業を育てます

産業支援センター活動経費…………… 1,742万円
 小規模事業者支援事業…………… 1,045万円
 産業連関表作成事業…………… 878万円
 商工会活動事業…………… 4,822万円

④ 地域産業の核となる観光・交流産業の活性化を図ります

郡上カンパニープロジェクト推進事業 8,166万円
 「観光立市郡上」推進事業…………… 5,059万円
 「日本一のおどりのまち郡上」推進事業
 ……………… 2,507万円
 観光施設整備事業…………… 4億3,543万円
 イベント開催事業…………… 1,422万円
 宿泊施設改修支援事業…………… 3,009万円

⑤ 雇用の場・機会の創出と魅力ある就労環境を目指します

企業誘致関連整備事業…………… 3億1,709万円
 工業団地造成事業…………… 2億1,180万円
 企業誘致促進事業…………… 1,019万円
 雇用対策推進事業…………… 3,153万円
 空き店舗等活用事業…………… 1,816万円

環境・防災・社会基盤

《美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち》

① 自然環境を守り、快適な住環境の実現を図ります

過疎地域等空き家活用推進事業…………… 300万円
 清流条例推進事業…………… 144万円
 観光景観林100年事業…………… 315万円

③ 生涯スポーツ活動を推進します

生涯スポーツ振興事業……………	557万円
2020スポーツツーリズム推進事業……	2,906万円

④ 生涯学習の充実を図り地域を担う人材育成の機会を広げます

公民館活動経費……………	5,263万円
生涯学習振興事業……………	807万円
図書等整備事業……………	1,270万円
図書館子ども読書活動推進事業……………	83万円

⑤ 郡上のこれまでと今を学び、郡上のこれからを考え行動する「郡上学」を推進します

郡上学講座開催事業……………	40万円
郡上学推進事業……………	141万円
夢づくり教育事業……………	2,480万円
郡上市史編纂・資料保存活用事業……………	406万円

自治・まちづくり

《市民と行政が協働でつくるまち》

① 市民主体のまちづくりを支援します

地域おこし協力隊派遣事業……………	2,200万円
過疎地域自立促進事業……………	2,723万円
住民自治推進事業……………	1,432万円
(仮称)旧越前屋活用事業……………	1,072万円

② 誰もが尊重される地域社会を形成します

男女共同参画推進事業……………	153万円
人権啓発活動事業……………	242万円

③ 交流・連携によるまちづくりを推進します

ずっと郡上・もっと郡上都市農村対流戦略的イノベーションプロジェクト事業……	1,016万円
大都市ネットワーク構築事業……………	172万円
交流・移住推進事業……………	1,736万円
関係人口創出事業……………	280万円

行財政運営

《健全な行財政運営を実行するまち》

① 市民にとって開かれた身近な市役所を目指します

マスコットキャラクター啓発事業……………	60万円
広報活動経費……………	1,010万円

② 成果を重視する効率的かつ効果的な行財政運営を図ります

ふるさと寄附啓発事業……………	1,396万円
公共施設マネジメント推進事業……………	158万円
総合計画策定事業……………	40万円
行政ネットワーク機器更新事業……………	2,903万円

健康づくりプロジェクト事業……………	45万円
骨髄移植ドナー等助成事業……………	21万円

③ 生きがいを持ち、安心できる暮らしの実現を目指します

ねんりんピック開催事業……………	244万円
在宅高齢者等介護慰労事業……………	1,702万円
介護職員確保対策事業……………	55万円
高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業……………	156万円

④ 住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指します

重度心身障害者医療費助成事業……	2億6,657万円
障害者地域生活支援事業……………	4,487万円
災害時避難行動要支援者支援事業……………	66万円
生活困窮者自立支援事業……………	1,722万円

教育・文化・人づくり

《香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち》

① 確かな学力と豊かな心をもった「郡上人」を育てます

高校生通学費助成事業……………	1,983万円
部活動指導員配置促進事業……………	205万円
学力向上事業……………	

【小学校】

読書活動の充実（図書購入、図書館整備）……………	1,873万円
プログラミング推進……………	293万円
I C T活用……………	3,545万円
指導法改善……………	30万円
幼保小連携……………	8万円
通級・適応指導加配……………	351万円

【中学校】

読書活動の充実（図書購入、図書館整備）……………	285万円
I C T活用……………	2,012万円
指導法改善……………	24万円
英語指導助手招へい……………	2,433万円

心の教育推進事業

【小学校】

道徳教育推進……………	5万円
不登校対策充実……………	807万円
不登校対策リーダー育成……………	56万円

【中学校】

不登校対策充実……………	1,489万円
--------------	---------

② 市民が地域文化に触れる機会を広げます

歌のまちづくり事業……………	665万円
青少年育成活動推進事業……………	603万円
篠脇城跡・東氏館跡活用事業……………	358万円
文化施設整備事業……………	3億1,914万円

